

ジェット飛行実験機(ジェットFTB: Flying Test Bed)の概要

参考

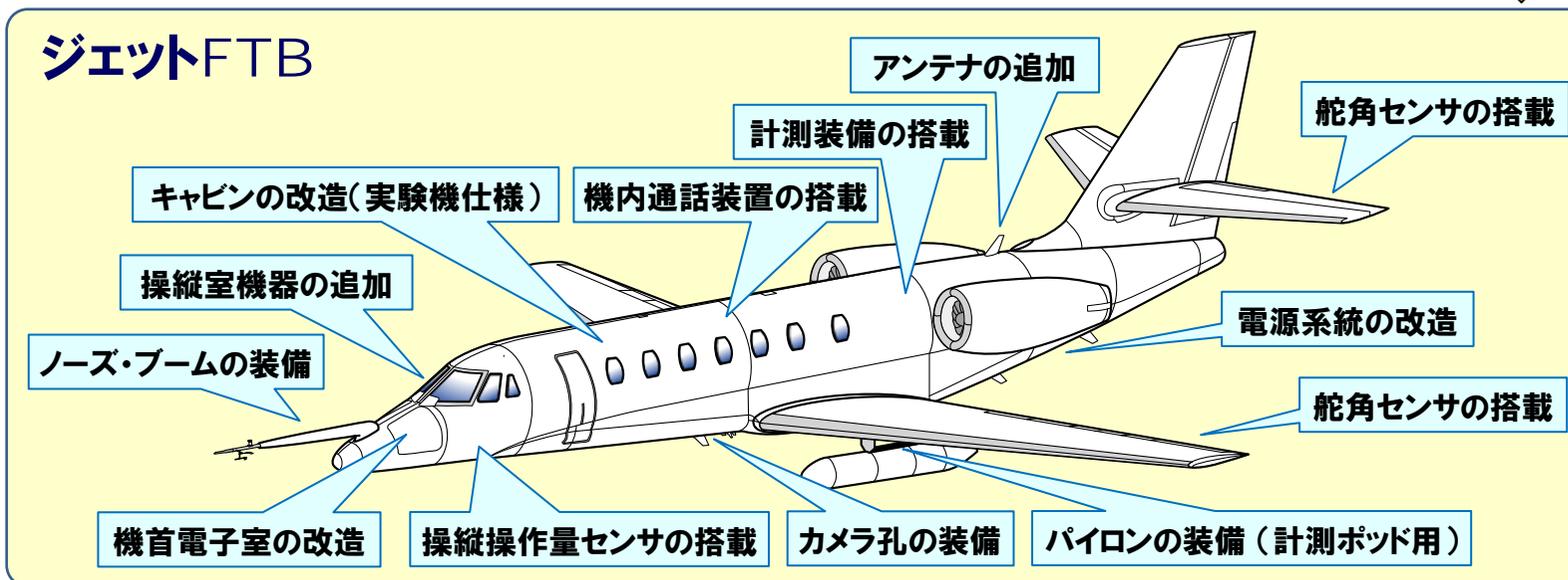
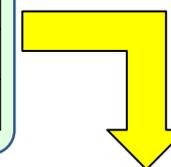
「ジェットFTB」は、実際の飛行環境で行う飛行実証試験に必要な特殊な計測装置等を搭載し、国産ジェット旅客機の開発に必要な技術の飛行実証と安全のための技術基準の作成などに活用します。

このため、母機に特殊な計測装置等を搭載する改造を行うことにしています。

母機:サイテーション ソブリン(セスナ式 680型)
(米国セスナ社製 双発中型ビジネスジェット機 基本仕様)

乗員	2
最大客席数	12
最大離陸重量	13,744 kg
ペイロード重量	1,200 kg
機体(全長/全幅/全高)	19.35 m / 19.24 m / 6.20 m
キャビン(長さ/幅/高さ)	7.70 m / 1.68 m / 1.73 m
最大巡航速度	マッハ 0.80
最大運用高度	14,300 m
航続距離	5,341 km
エンジン	PW306C-2基

改造



ジェット飛行実験機(ジェットFTB: Flying Test Bed)の活用例

参考

- 平成23年4月運用開始予定
- 従来のプロペラ機に比べて広い分野での利用が可能で, JAXA内ミッションの確実な実施に資するとともに, 産業界・大学等の要望に応える設備

